

大東アーネット

(5)

野鳥に親しむ

野鳥愛好者を大きく分け

れば、ウォッチング派とリ

スニング派になります。

前者は、双眼鏡や遠鏡

を手にして、少しでも大き

く少しでも鮮明に野鳥の姿

を見るに全力を注ぎま

す。場所は、干潟や田んぼ

といつた見通しのきく所を

ばかりです。ウグイスでは

チャツチャツという声がこ

れです。さえずりと地鳴き

は随分と違うもので、一体

歩きながら鳥の鳴き声を楽

しみ道具も双眼鏡だけのこ

とが多いようです。

五月の飯盛山はといえば

新緑が空を隠し、ウォッチ

ング派には少々不便であります。

それにこの時期は、

鳥の繁殖期に当り、さえず

りの美しい声を聞かせてく

れる季節です。という訳で

木の中を飛び回るため、すぐ近くで声が

してなかなか見つけられ

ないのです。

派向きます。

そこで、鳥の鳴き声に

あり、鳥たちの声を楽しむ

五月の飯盛山はリスニング

派向きます。

先日飯盛山を歩く機会が

ありました。木の中を飛び

回るため、すぐ近くで声が

してなかなか見つけられ

ども姿を見るのは容易では

ありません。木の中を飛び

回るため、すぐ近くで声が

してなかなか見つけられ

ないのです。彼らに比べホオジロは見

つけ易い鳥です。木のてつ

は、さえずりと地鳴きの二

ことができました。ツピー

ツピーと、シジュウカラが

通りあります。さえずりはテリトリー宣言の歌で主に繁殖期のものです。例えばウグイスではホーホケキョ

ウグイスではホーホケキョ

いう鳴き声がこれに当たります。地鳴きは普段一般

の声で、冬場は大抵地鳴き

です。

夏鳥では、ヤブサメ、セ

ンダイムシクイ、サンショウ

ウクイなどがやってきま

す。彼らは南から来るばる

日本にやってきて、繁殖す

るのです。ヤブサメは、リ

ーリーリーと尻上りに鳴

き、初めて聞いたときには

虫の声ではないかと思つた

のです。センドダイムシク

イの聞きなしは、焼酎一杯

グレーで、特に最後のグイ

ーはピッタリの表現といえ

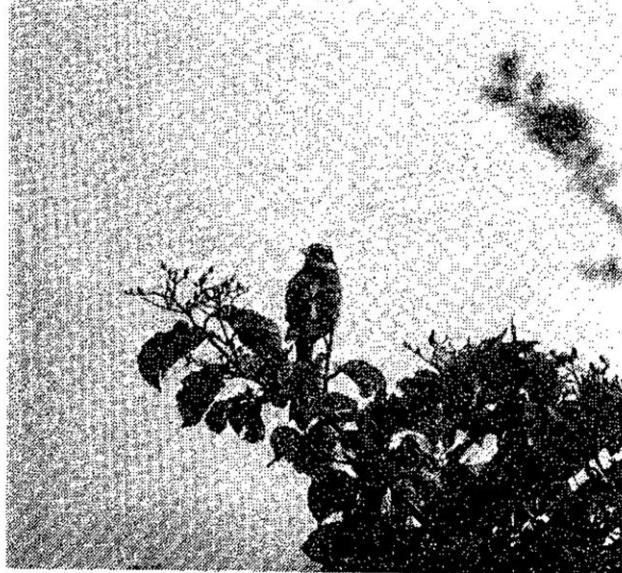
ます。

ニセアカシアの花盛りで、山の一部がすっかり白くなっています。

野嶺観音へ下る途中の池で、ツィーという声がし、一瞬青いものが横切りました。

島たちの歌声よ永遠な

文・天野史郎



木のてっぺんでさえずるホオジロ